

施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (6)文化芸術の振興と文化交流の促進

(評価担当者)

生活文化部長 佐久間 利夫

■基本施策が目指す姿

市民が、文化的な個性や魅力にあふれたまちの中で心豊かに生活しています。

■関連する分野別計画

亀山市文化振興ビジョン

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	亀山市芸術文化協会の団体数	団体	47	H27	43					50
2	亀山市芸術文化協会の会員数	人	728	H27	637					750
3	文化会館自主文化事業にかかる入場者数	人	16,746	H27	16,508					17,600
4	市主催等の公募展への出演・出展者数	人	2,341	H27	1,515					2,500
5										

■市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1	芸術や文化に関わる機会が充実している	重要度 0.69 満足度 ▲ 0.56			
2		重要度 満足度			
3		重要度 満足度			
4		重要度 満足度			
5		重要度 満足度			

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>文化政策の推進、文化交流の促進については、かめやま文化年2017の実施を通して事業推進が図れており、個別判定はB、Aとしている。文化の拠点づくりについては、予定していた改修工事等を完了させ、文化会館を中心とした活動が進展しており個別判定をAとしている。文化芸術活動の活性化についても、かめやま文化年2017の中で関連する施策が進められており、個別判定をBとしている。</p> <p>しかし、成果指標については、いずれも実績値が現状値を下回っており、数値的な結果には結び付いていない段階である。</p> <p>以上から、総合判定はBとした。</p>
反省点・課題	
<p>文化の拠点となる文化会館の大規模改修等については、計画的に改修等を進め、施設の長寿命化とともに、利用者の便宜を図っていく必要がある。</p> <p>かめやま文化年の開催が、施策推進の原動力となっており、かめやま文化年2020の開催に向けて、これまでの文化年の評価検証を行うとともに、2020年に向けた事業立案を進めていく必要がある。また、文化振興基金の活用について検討を進める必要がある。</p> <p>文化に対する関心は着実に高まっていると考えられるが、一方で、市展出展数の減少に見られるように担い手の幅は広がっておらず、新たな担い手の掘り起こしが必要である。</p>	

今後の展開方針

文化会館の大規模改修を計画的に実施し、施設に関する課題の解決を図るとともに、適切な管理運営により利便性の向上を図る。
かめやま文化年2020に向けた準備を着実に進める。
文化振興条例(仮称)の制定、次期「文化振興ビジョン」策定に向けた準備を行う。
文化に関わる活動においては、文化の担い手の幅を広げることを強く意識する。
文化振興基金の活用を図る。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 文化政策の推進							
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B まずまず進んでいる	活動	かめやま文化年2017では、「お茶・紅茶」「ローソク」といった地域資源に焦点をあてた事業を実施した。文化会館を基点として、地域へのアウトリーチや市民ミュージカルなどの事業が展開された。「歴史的風致のまちづくり」プロジェクトの推進により、街道、宿場、城下町、伝統行事などの歴史資源の保存や整備事業を行った。また、文化振興基金を創設した。			評価	歴史資源や自然資源の保存整備により、魅力あるまちづくりが進んだ。また文化年事業を中心に、地場産業と文化を結び付けたり、文化会館を基点とした市民向け音楽活動や市民ミュージカル、子ども能の育成など、新たな文化資源の創造に取り組むなど、文化振興ビジョンにてらした文化政策の推進が図れた。	
		関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]
		17056	かめやま文化年事業	主	19,810 / 17,717	A	B
事業以外の取組		内容				活動	成果
		文化振興基金の創設				A	A

施策の方向② 文化交流の促進							
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A 順調に進んでいる	活動	かめやま文化年事業は、「つながる」をキーワードとして、交流・継承・人材育成の視点を踏まえたかめやま文化年2017を1年を通じて実施した。また文化会館の指定管理者でもある地域社会振興会を支援し、文化会館による各種事業がスムーズに展開された。			評価	かめやま文化年2017では、岡山県高梁市との文化交流や全国から若手アーティストが集う亀山トリエンナーレなど、「つながる」を意識して各事業に取り組み、異なる文化や地域間交流を深めるとともに、様々な各種団体の参画と連携を進めたことにより、文化交流の促進が図れた。	
		関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]
		17056	かめやま文化年事業	主	19,810 / 17,717	A	B
		2010	地域社会振興会運営事業	標	29,177 / 27,577	A	A
事業以外の取組		内容				活動	成果

施策の方向③ 文化の拠点づくり							
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A 順調に進んでいる	活動	文化会館の大規模改修事業として不具合のあった空調設備の設計及び会議室棟・市民ロビーの改修工事を実施するとともに、大ホール吊天井耐震調査を実施した。また、老朽化した高圧受変電設備(キュービクル)の改修工事を実施した。 文化年事業においては、文化会館が中心となってアトリス事業、市民ミュージカル事業等が実施された。			評価	各工事の完了により、文化の拠点としての文化会館の施設整備を進めることができた。 文化会館においては、継続的に自主事業を開催するとともに、文化年事業に関連して市民参加型の活動が広く展開された。	
		関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]
		17057	文化会館等大規模改修事業	主	20,304 / 20,304	A	A
		19078	施設整備費(文化会館費)	標	6,150 / 6,113	A	A
事業以外の取組		内容				活動	成果
		文化会館における自主事業の実施				A	A

施策の方向④ 文化芸術活動の活性化							
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B まずまず進んでいる	活動	文化年事業では、美術展の特別展として、中村晋也氏、上田秀洋氏の作品展示を行った。市美術展をはじめ、俳句会・川柳会を開催し、また亀山市芸術文化協会や文化会館との連携により、協会の自主事業や文化会館フェスタが開催された。また文化会館における合唱指導やプロの演奏家のアウトリーチが市内各小中学校に対して実施された。			評価	優れた作品に触れる機会を通じ市民の文化芸術に対する意識が高まり、様々な活動成果を発表する機会により、市民の活動意欲が向上した。 また、芸術文化協会を中心とした各関係団体や子どもたちに向けた文化活動により、文化芸術に優れた人材の育成並びに市民の自主的な文化芸術活動の推進が図れた。	
		関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]
		19074	一般事業(文化振興事業)	標	2,197 / 2,051	B	B
		19076	市展開催費	標	2,342 / 2,002	B	B
		19134	市民文化祭開催費	標	212 / 114	B	C
事業以外の取組		内容				活動	成果
		文化年事業による市展特別展の開催				A	A